

高成長インド・ 中型株式ファンド (年1回決算型)

【運用報告書(全体版)】

(2023年2月28日から2024年2月27日まで)

第 7 期

決算日 2024年2月27日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、主としてインドの中型株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限（設定日：2017年11月22日）
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主としてインドの中型株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 コタック・ファンズーインディア・ミッドキャップ・ファンド(クラスX) インドの市場で上場または取引されている株式 マネー・マーケット・マザーファンド 円貨建ての短期公社債および短期金融商品
当ファンドの運用方法	■インドの中型株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指します。 ■インドの代表的な総合金融グループの一つであるコタック・マヒンドラ・グループが実質的な運用を行います。 ■原則として、対円での為替ヘッジは行いません。
組入制限	■外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	■年1回（原則として毎年2月27日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配金額を決定します。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準および市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。
(基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。)

三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1

<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976

受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

高成長インド・中型株式ファンド（年1回決算型）

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			公社債 組入比率	投資信託 証券組入 比率	純資産 総額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率			
	円	円	%	%	%	百万円
3期(2020年2月27日)	9,089	0	10.3	0.0	96.8	53,139
4期(2021年3月1日)	10,274	0	13.0	0.0	97.2	45,139
5期(2022年2月28日)	13,124	0	27.7	0.0	96.8	44,989
6期(2023年2月27日)	14,298	0	8.9	0.0	97.4	55,722
7期(2024年2月27日)	20,660	0	44.5	0.0	96.9	194,998

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		公社債 組入比率	投資信託 証券組入 比率
		騰落率		
(期首) 2023年2月27日	円 14,298	% —	% 0.0	% 97.4
2月末	14,265	△ 0.2	0.0	97.0
3月末	13,763	△ 3.7	0.0	94.4
4月末	14,249	△ 0.3	0.0	96.9
5月末	15,563	8.8	0.0	99.1
6月末	16,719	16.9	0.0	97.5
7月末	16,690	16.7	0.0	98.6
8月末	17,671	23.6	0.0	98.4
9月末	18,061	26.3	0.0	97.1
10月末	17,672	23.6	0.0	98.0
11月末	18,500	29.4	0.0	97.9
12月末	18,666	30.5	0.0	97.3
2024年1月末	19,700	37.8	0.0	97.9
(期末) 2024年2月27日	20,660	44.5	0.0	96.9

※騰落率は期首比です。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

1 運用経過

基準価額等の推移について（2023年2月28日から2024年2月27日まで）

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	14,298円
期末	20,660円 (既払分配金0円(税引前))
騰落率	+44.5% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

基準価額の主な変動要因（2023年2月28日から2024年2月27日まで）

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主としてインドの取引所に上場している中型株式等に投資しました。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行いませんでした。

上昇要因

- 期初から9月上旬にかけて、インフレ率の低下期待や過度の金融引き締め懸念の後退などから、インド株式市場が上昇したこと
- 10月下旬以降、インフレ率の低下が減速し金融政策の緩和期待が強まったことや、堅調な経済成長、企業業績などを背景にインド株式市場が上昇したこと
- 期中に変動はあったものの、期を通じて見るとインドルピーが円に対して上昇したこと

下落要因

- 9月中旬から10月下旬にかけて、米国の長期金利（10年国債利回り）が上昇したことなどにより、世界的に株式市場が調整し、インド株式市場が下落したこと

投資環境について（2023年2月28日から2024年2月27日まで）

インド株式市場は上昇しました。また為替市場では、インドルピーは対円で上昇しました。

株式市場

期初から9月上旬にかけては、3月に米国の地方銀行の破綻などで一時的に調整したものの、インフレ率の低下期待や過度の金融引き締め懸念の後退などから、インド株式市場は上昇基調が継続しました。

9月中旬から10月下旬にかけては、米国の長期金利が上昇したことなどから世界的に株式市場が調整し、インド株式市場も下落しました。その後、米国の長期金利も低下し、2024年の金融緩和期待が強まると世界的に株式市場は反発し、インド株式市場も上昇基調となりました。

インド国内要因では、インフレの安定に加え、7-9月期GDP（国内総生産）成長率が市場予想を上回る高成長を示したことや、12月初めに開票された州選挙で与党が予想以上の勝利となったことなどが好感されました。

為替市場

米ドル・インドルピーは、期を通じて概ねレンジでの動きとなりました。

一方、米ドル・円は3月や7月に一時的に米ドル安・円高となりましたが、11月中旬にかけて、米国のタカ派（インフレ抑制を重視する立場）的な金融政策の長期化懸念などから米ドル高・円安の動きとなりました。その後は、12月末にかけて米国の金融緩和期待が強まったことなどから米ドル安・円高の動きも見られましたが、年明け以降は再度米ドル高・円安基調に戻りました。

結果として、期を通じて見るとインドルピー・円はインドルピー高・円安となりました。

ポートフォリオについて（2023年2月28日から2024年2月27日まで）

当ファンド

期を通じて、「コタック・ファンズーイン

ディア・ミッドキャップ・ファンド(クラスX)」を高位に組み入れました。

コタック・ファンズーインディア・ミッドキャップ・ファンド(クラスX)

●株式組入比率

期を通じて、中長期で魅力的と判断する銘柄を組み入れることで、株式組入比率を高位に維持しました。

●業種配分

期を通じて素材の組入比率を相対的に高く維持したほか、情報技術の組入比率を高めた一方、公益、エネルギーなどは低位の組入れを継続しました。

●個別銘柄

銀行のBank of Baroda、ポリウレタン製品を製造しているSheela Foam、ケーブルやワイヤ、スイッチや照明器具などを製造しているRR Kabel、国内販売を中心とする医薬品メーカーのMankind Pharm、タイヤメーカー大手の1社であるJK Tyreなどを新規に組み入れました。

マネー・マーケット・マザーファンド

主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

ベンチマークとの差異について(2023年2月28日から2024年2月27日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について(2023年2月28日から2024年2月27日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第7期
当期分配金	0
(対基準価額比率)	(0.00%)
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	10,659

期間の分配は、複利効果による信託財産の成長を優先するため、見送りとしたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
 ※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

引き続き、「コタック・ファンズーインディア・ミッドキャップ・ファンド(クラスX)」を高位に組み入れて運用を行います。

コタック・ファンズーインディア・ミッドキャップ・ファンド(クラスX)

2月末に発表された10-12月期GDP成長率は、市場予想を大きく上回り、7-9月期から加速しています。インフレもRBI（インド準備銀行）の許容レンジ内で安定しており、インドのファンダメンタルズ(基礎的条件)は堅調と言えます。

一方、昨年来株式市場は継続的に上昇してきたこともあり、他市場との相対バリュエーション(投資価値評価)では、若干割高感も出ています。短期的に上値の重い展開の可能性もありますが、中長期的にはインドの良好なファンダメンタルズを背景に上昇基調が継続すると考えています。

引き続き、個別銘柄の分析を通じ、中型株を中心とした選別投資を継続いたします。

マネー・マーケット・マザーファンド

円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

3 お知らせ

約款変更について

- 「高成長インド・中型株式ファンド」および「高成長インド・中型株式ファンド(年1回決算型)」合計で2,500億円としていた信託金限度額を合計4,000億円へ引き上げる信託約款の変更を行いました。(適用日：2023年5月25日)
- 信託期間を無期限とすることに伴い、信託約款に所要の変更を行いました。(適用日：2023年11月22日)

高成長インド・中型株式ファンド（年1回決算型）

1万口当たりの費用明細（2023年2月28日から2024年2月27日まで）

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	198円	1.160%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は17,102円です。
（投信会社）	(61)	(0.358)	投信会社：ファンド運用の指図等の対価
（販売会社）	(132)	(0.770)	販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(6)	(0.033)	受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	－	－	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
（株式）	(－)	(－)	売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（先物・オプション）	(－)	(－)	
（投資信託証券）	(－)	(－)	
(c) 有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
（株式）	(－)	(－)	有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（公社債）	(－)	(－)	
（投資信託証券）	(－)	(－)	
(d) その他費用	2	0.009	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(－)	(－)	保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.008)	監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用
（その他）	(0)	(0.001)	その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	200	1.170	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

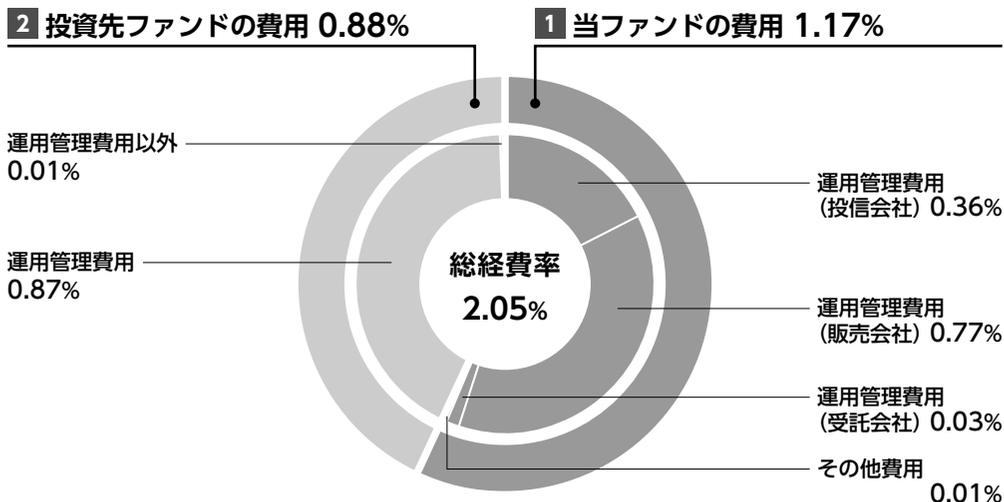
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



参考情報 総経費率(年率換算)



総経費率(1 + 2)		2.05%
1	当ファンドの費用の比率	1.17%
2	投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.87%
	投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.01%

※ 1の各費用は、前掲「1万円当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万円当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※ 2の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、シェアクラスの経費率です。運用管理費用と運用管理費用以外の費用を、目論見書に記載している料率にもとづき区別しています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※ 1と2の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※ 上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は2.05%です。

高成長インド・中型株式ファンド（年1回決算型）

■ 当期中の売買及び取引の状況(2023年2月28日から2024年2月27日まで)

投資信託証券

		買 付		売 付	
		口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
国内	コタック・ファンズーインディア・ミッドキャップ・ファンド（クラスX）	□ 1,763,169	千円 96,302,000	□ 103,922	千円 6,213,000

※金額は受渡し代金。

※国内には、円建ての外国籍投資信託証券を含みます。

■ 利害関係人との取引状況等(2023年2月28日から2024年2月27日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況(2023年2月28日から2024年2月27日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細(2024年2月27日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	期首(前期末)	期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	組 入 比 率
コタック・ファンズーインディア・ミッドキャップ・ファンド（クラスX）	□ 1,172,150.4855	□ 2,831,397.3895	千円 188,925,766	% 96.9
合 計	1,172,150.4855	2,831,397.3895	188,925,766	96.9

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

(2) 親投資信託残高

種 類	期首(前期末)	期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
マネー・マーケット・マザーファンド	千口 7,882	千口 7,882	千円 7,871

※マネー・マーケット・マザーファンドの期末の受益権総口数は76,632,575口です。

高成長インド・中型株式ファンド（年1回決算型）

■ 投資信託財産の構成

（2024年2月27日現在）

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 証 券	188,925,766	96.2
マネー・マーケット・マザーファンド	7,871	0.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	7,486,374	3.8
投 資 信 託 財 産 総 額	196,420,013	100.0

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2024年2月27日現在）

項 目	期 末
(A) 資 産	196,420,013,476円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	7,486,374,957
投 資 証 券（評価額）	188,925,766,900
マネー・マーケット・マザーファンド（評価額）	7,871,619
(B) 負 債	1,421,392,632
未 払 解 約 金	373,121,404
未 払 信 託 報 酬	1,041,298,370
そ の 他 未 払 費 用	6,972,858
(C) 純 資 産 総 額（A - B）	194,998,620,844
元 本	94,386,386,513
次 期 繰 越 損 益 金	100,612,234,331
(D) 受 益 権 総 口 数	94,386,386,513口
1 万 口 当 ち 基 準 価 額 (C/D)	20,660円

※当期における期首元本額38,972,715,810円、期中追加設定元本額62,872,815,203円、期中一部解約元本額7,459,144,500円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

（自2023年2月28日 至2024年2月27日）

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	3,498,728,795円
受 取 配 当 金	3,500,901,321
受 取 利 息	77,993
支 払 利 息	△ 2,250,519
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	42,924,285,127
売 買 損 益	44,596,917,149
売 買 損 益	△ 1,672,632,022
(C) 信 託 報 酬 等	△ 1,514,645,457
(D) 当 期 損 益 金（A + B + C）	44,908,368,465
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	11,373,596,191
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	44,330,269,675
（ 配 当 等 相 当 額 ）	（ 28,863,416,836 ）
（ 売 買 損 益 相 当 額 ）	（ 15,466,852,839 ）
(G) 合 計（D + E + F）	100,612,234,331
次 期 繰 越 損 益 金（G）	100,612,234,331
追 加 信 託 差 損 益 金	44,330,269,675
（ 配 当 等 相 当 額 ）	（ 28,863,418,131 ）
（ 売 買 損 益 相 当 額 ）	（ 15,466,851,544 ）
分 配 準 備 積 立 金	56,281,964,656

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 ※株式投信の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	3,384,561,493円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	41,523,806,972
(c) 収益調整金	44,330,269,675
(d) 分配準備積立金	11,373,596,191
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	100,612,234,331
1 万 口 当 ち 当 期 分 配 対 象 額	10,659.61
(f) 分配金	0
1 万 口 当 ち 分 配 金	0

■ 分配金のお知らせ

	当 期
1 万口当たり分配金 (税引前)	0円

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

高成長インド・中型株式ファンド（年1回決算型）

■ 組入れ投資信託証券の内容

投資信託証券の概要

ファンド名	コタック・ファンズーインディア・ミッドキャップ・ファンド（クラスX）								
形態	ルクセンブルグ籍会社型投資信託（円建て）								
主要投資対象*	インドの市場で上場または取引されている株式を主要投資対象とします。								
運用の基本方針*	主としてインドの中型株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指します。また、大型株式へ投資することがあります。原則として対円での為替ヘッジは行いません。								
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ●同一発行体の有価証券への投資割合は、原則として純資産総額の10%以内とします。 ●有価証券の空売りは行いません。 ●純資産総額の10%を超える借入れを行いません。 								
配分方針	毎年2月、5月、8月、11月の10日（休業日の場合は前営業日）に分配を行う方針です。								
運用管理費用	<p>純資産総額に対して</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>運用報酬</td> <td>年0.75%程度</td> </tr> <tr> <td>管理費用</td> <td>年0.05%程度</td> </tr> <tr> <td>保管費用</td> <td>年0.04%程度</td> </tr> <tr> <td>事務代行費用</td> <td>年0.05%程度</td> </tr> </table> <p>※また、年間最低報酬額や取引ごとにかかる費用等が定められている場合があるため、純資産総額の規模や取引頻度等によっては、上記の各料率を上回ることがあります。</p>	運用報酬	年0.75%程度	管理費用	年0.05%程度	保管費用	年0.04%程度	事務代行費用	年0.05%程度
運用報酬	年0.75%程度								
管理費用	年0.05%程度								
保管費用	年0.04%程度								
事務代行費用	年0.05%程度								
その他の費用	<p>ファンドの設立費用、取引関連費用、法的費用、会計・監査および税務上の費用ならびにその他の費用を負担します。</p> <p>これらは、ファンドの運営状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。</p>								
申込手数料	ありません。								
スイング・プライス	ファンドの買付け、売却額の差額が、ファンドの時価総額に対して一定の割合を超過する場合、予想される取引スプレッド、コスト、その他の要因を考慮して、その売買価格が調整され、ファンドの基準価額に反映されることがあります。								
投資顧問会社	コタック・マヒンドラ・アセット・マネジメント（シンガポール）								
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。								

*従来、「インド・ミッドキャップ（モーリシャス）リミテッド」への投資を通じてインドの中型株式等に投資する形態を取っていましたが、インドとモーリシャスの租税条約改正を受け、2023年9月現在、新規投資は「コタック・ファンズーインディア・ミッドキャップ・ファンド（クラスX）」が直接インドの中型株式等に投資する方針となっています。

高成長インド・中型株式ファンド（年1回決算型）

（コタック・ファンズーインディア・ミッドキャップ・ファンド（クラスX）を通じて保有）

ファンド名	インディア・ミッドキャップ（モーリシャス）リミテッド
形態	モーリシャス籍会社型投資信託（米ドル建て）
主要投資対象	インドの市場で上場または取引されている株式を主要投資対象とします。
運用の基本方針	主としてインドの中型株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指します。また、大型株式へ投資することがあります。原則として対円での為替ヘッジは行いません。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ●有価証券の空売りは行いません。 ●純資産総額の10%を超える借入れを行いません。 ●同一発行体の有価証券への投資割合は、原則として純資産総額の10%以内とします。
分配方針	分配は行いません。
運用管理費用	ありません。
その他の費用	ファンドの設立費用、取引関連費用、法的費用、会計・監査および税務上の費用ならびにその他の費用を負担します。これらは、ファンドの運営状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。
申込手数料	ありません。
投資顧問会社	コタック・マヒンドラ・アセット・マネジメント（シンガポール）
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

*インディア・ミッドキャップ（モーリシャス）リミテッドは、保有株式がすべて売却された後に清算される予定です。

高成長インド・中型株式ファンド（年1回決算型）

以下には、「コタック・ファンズーインディア・ミッドキャップ・ファンド（クラスX）」をシェアクラスとして含む「コタック・ファンズーインディア・ミッドキャップ・ファンド」の情報を委託会社において抜粋、要約して翻訳したものを記載しています。

■ 損益計算書(2022年1月1日から2022年12月31日まで)

(単位：米ドル)

収益	
配当収益	14,525,771
銀行預金受取利息	192,528
その他収益	1,384
収益合計	<u>14,719,683</u>
費用	
投資運用報酬	15,001,689
管理事務代行・保管報酬	691,506
監査報酬および専門家報酬	361,788
管理会社報酬	544,105
年次税	568,631
取引手数料	22,269
役員報酬	10,044
その他費用	5,875
費用合計	<u>17,205,907</u>
投資純損益	<u>(2,486,224)</u>
実現純損益：	
- 投資ポートフォリオ	90,766,867
- 外国為替取引	(19,250,289)
- キャピタル・ゲイン税	11,270,757
実現純損益	<u>82,787,335</u>
未実現損益の純変動額：	
- 投資ポートフォリオ	(281,750,334)
- 外国為替取引	(521,472)
未実現損益の純変動額	<u>(282,271,806)</u>
営業損益	<u>(201,970,695)</u>

高成長インド・中型株式ファンド（年1回決算型）

■ 投資明細表(2022年12月31日現在)

株数/額面	銘柄名	時価 (単位：米ドル)	純資産 構成比(%)
	公認の証券取引所に上場されている、もしくは他の規制市場で取引されている譲渡可能な有価証券および短期金融商品		
	株式		
	インド		
1,242,790	Aavas Financiers	27,745,405	1.68
456,168	Alkem Laboratories	16,577,645	1.00
318,461	Amber Enterprises India	7,284,732	0.44
126,692	Apollo Hospitals Enterprise	6,861,063	0.42
7,755,467	Apollo Tyres	30,419,482	1.84
721,394	Archean Chemical Industries	4,591,573	0.28
14,704,939	Ashok Leyland	25,504,058	1.54
267,441	Atul	26,711,592	1.62
4,623,526	AU Small Finance Bank	36,597,101	2.21
3,971,450	Axis Bank	44,851,464	2.71
1,030,224	Balkrishna Industries	26,556,019	1.61
1,147,871	Bata India	22,895,501	1.39
3,243,919	Bharat Petroleum	12,966,966	0.78
2,701,056	Birlasoft	9,759,744	0.59
4,213,299	Brigade Enterprises	23,698,390	1.43
2,426,900	Carborundum Universal	25,689,526	1.55
791,358	Cholamandalam Financial Holdings	5,269,467	0.32
4,868,378	Cholamandalam Investment & Finance	42,565,665	2.58
10,635,345	City Union Bank	23,205,184	1.40
1,974,993	Container Corp. Of India	17,647,750	1.07
1,680,157	Coromandel International	18,027,846	1.09
6,942,334	Crompton Greaves Consumer Electricals	28,250,292	1.71
2,045,039	Cummins India	34,143,139	2.07
127,869	Dixon Technologies India	6,038,634	0.37
508,887	Elin Electronics	1,401,154	0.08
3,861,268	Emami	19,850,291	1.20

高成長インド・中型株式ファンド（年1回決算型）

株数/額面	銘柄名	時価 (単位：米ドル)	純資産 構成比(%)
	公認の証券取引所に上場されている、もしくは他の規制市場で取引されている譲渡可能な有価証券および短期金融商品		
	株式 (続き)		
	インド (続き)		
30,271,241	Federal Bank	50,909,417	3.08
6,619,256	Fortis Healthcare	22,904,665	1.39
2,125,136	Gujarat Gas	12,495,508	0.76
2,943,431	Gujarat State Petronet	9,387,737	0.57
3,738,586	ICICI Bank	40,281,800	2.44
350,340	Indraprastha Gas	1,754,020	0.11
2,144,596	Ipca Laboratories	21,868,625	1.32
5,104,387	Jindal Steel & Power	35,844,088	2.17
659,992	JK Cement	23,313,510	1.41
2,172,569	Kajaria Ceramics	30,486,204	1.84
240,684	LTIMindtree	12,707,736	0.77
10,303,883	Mahindra & Mahindra Financial Services	29,236,530	1.77
1,302,288	Mahindra Lifespace Developers	5,730,946	0.35
2,361,542	Mahindra Logistics	14,332,542	0.87
2,472,447	Max Financial Services	20,259,709	1.23
3,245,321	Max Healthcare Institute	17,252,930	1.04
620,929	Metro Brands	6,635,068	0.40
12,087,838	Motherson Sumi Systems	10,840,684	0.66
9,584,866	Motherson Sumi Wiring India	6,758,518	0.41
346,330	Mphasis	8,263,615	0.50
11,317	MRF	12,118,404	0.73
2,621,330	Oberoi Realty	27,517,775	1.67
32,639	Page Industries	16,910,239	1.02
2,814,556	PB Fintech	15,260,738	0.92
1,013,169	Persistent Systems	47,434,109	2.87
837,702	PI Industries	34,649,731	2.10

高成長インド・中型株式ファンド（年1回決算型）

株数/額面	銘柄名	時価 (単位：米ドル)	純資産 構成比(%)
	公認の証券取引所に上場されている、もしくは他の規制市場で取引されている譲渡可能な有価証券および短期金融商品		
	株式 (続き)		
	インド (続き)		
4,935,143	PNC Infatech	17,211,416	1.04
700,297	Rolex Rings	15,282,272	0.92
698,533	Sansera Engineering	6,289,125	0.38
994,358	Sapphire Foods India	16,083,054	0.97
868,079	Schaeffler India	28,837,624	1.75
718,193	SKF India	39,080,825	2.37
2,279,690	SRF	63,150,174	3.82
182,311	Sundaram Finance	5,082,759	0.31
128,511	Sundram Fasteners	1,510,321	0.09
1,200,604	Supreme Industries	35,577,190	2.15
3,473,095	Syngene International	24,596,740	1.49
1,785,505	Tata Chemicals	20,237,976	1.22
348,189	TeamLease Services	10,623,533	0.64
317,349	Tega Industries	2,223,886	0.13
2,553,387	The Ramco Cements	21,625,525	1.31
1,367,644	Thermax	32,556,612	1.97
990,058	Torrent Pharmaceuticals	18,567,666	1.12
3,122,829	Tracxn Technologies	3,023,475	0.18
1,067,073	TVS Motor	14,008,152	0.85
245,300	UltraTech Cement	20,646,403	1.25
2,586,326	United Spirits	27,450,613	1.66
2,515,341	Varroc Engineering	9,030,896	0.55
6,684,789	V-Guard Industries	21,134,413	1.28
1,774,072	Voltas	17,162,348	1.04
50,194	Whirlpool of India	908,865	0.06
6,415,005	Zee Entertainment Enterprises	18,624,971	1.13

高成長インド・中型株式ファンド（年1回決算型）

株数/額面	銘柄名	時価 (単位：米ドル)	純資産 構成比(%)
	株式合計	1,570,791,365	95.06
	証券取引所に公式上場されている、もしくは他の規制市場で取引されている譲渡可能な有価証券および短期金融商品合計	1,570,791,365	95.06
	その他譲渡性のある有価証券		
	投資ファンド		
	アイルランド		
3,337	Goldman Sachs PLC - US\$ Liquid Reserves Fund	36,142,813	2.19
	投資ファンド合計	36,142,813	2.19
	その他譲渡性のある有価証券合計	36,142,813	2.19
	投資合計	1,606,934,178	97.25
	その他純資産および負債	45,448,303	2.75
	純資産価値	1,652,382,481	100.00

高成長インド・中型株式ファンド（年1回決算型）

以下には、「インディア・ミッドキャップ（モーリシャス）リミテッド」の情報を委託会社において抜粋、要約して翻訳したものを記載しています。

■ 包括利益計算書(2022年1月1日から2022年12月31日まで)

(単位：米ドル)

収益	
配当収益	1,001,777
損益を通じて公正価値で測定される金融資産からの純損益	(22,101,120)
その他収益	28,107
収益合計	<u>(21,071,236)</u>
費用	
管理事務代行および保管報酬	44,500
外貨取引にかかる純損益	27,008
専門家報酬	4,000
営業費用合計	<u>75,508</u>
税引前損益	(21,146,744)
法人税等	(822,726)
償還可能普通株式保有者に帰属する純資産の増減額	<u>(21,969,470)</u>

マネー・マーケット・マザーファンド

第12期 (2022年3月2日から2023年3月1日まで)

信託期間	無期限 (設定日: 2011年5月31日)
運用方針	主として、円貨建の短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 最近5期の運用実績

決算期	基準価額		公社債 組入比率	純資産 総額
		期中 騰落率		
	円	%	%	百万円
8期 (2019年3月1日)	10,019	△0.1	74.1	89
9期 (2020年3月2日)	10,013	△0.1	80.6	77
10期 (2021年3月1日)	10,002	△0.1	75.9	76
11期 (2022年3月1日)	9,994	△0.1	76.0	76
12期 (2023年3月1日)	9,991	△0.0	74.7	76

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

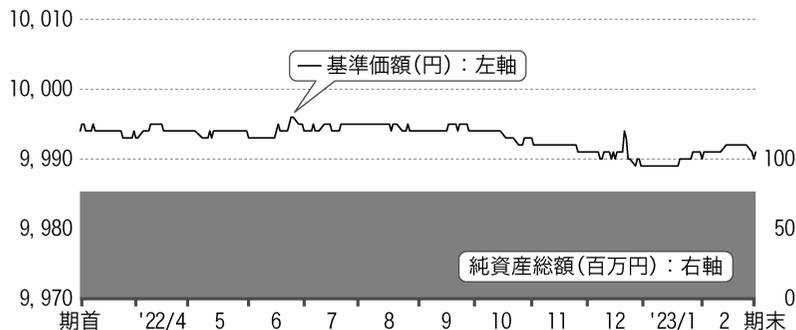
年月日	基準価額		公社債 組入比率
		騰落率	
(期首) 2022年3月1日	円 9,994	% -	% 76.0
3月末	9,993	△0.0	76.1
4月末	9,994	0.0	76.0
5月末	9,993	△0.0	74.8
6月末	9,994	0.0	74.8
7月末	9,995	0.0	74.8
8月末	9,994	0.0	74.7
9月末	9,994	0.0	74.8
10月末	9,993	△0.0	74.8
11月末	9,991	△0.0	74.7
12月末	9,989	△0.1	74.8
2023年1月末	9,990	△0.0	74.8
2月末	9,990	△0.0	74.7
(期末) 2023年3月1日	9,991	△0.0	74.7

※騰落率は期首比です。

1 運用経過

▶ 基準価額等の推移について (2022年3月2日から2023年3月1日まで)

基準価額等の推移



期首	9,994円
期末	9,991円
騰落率	-0.0%

▶ 基準価額の変動要因 (2022年3月2日から2023年3月1日まで)

当ファンドは、円建ての公社債および短期金融商品などへ投資しました。

下落要因

・日銀によるマイナス金利政策が継続され、主要投資対象である短期公社債や短期金融商品におけるマイナス利回りが続いたこと

▶ 投資環境について (2022年3月2日から2023年3月1日まで)

短期金利は低下しました。

世界的にインフレが高止まりを続けたことや、欧米中央銀行による大幅な利上げの継続を背景に円安が進行したことから、国内でも物価上昇率が拡大し、CPIコア（生鮮食品除く消費者物価指数）は前年比+4%台まで上昇しました。しかし、日銀はコストプッシュ型の物価上昇は持続的でないとの見方から、「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」政策を維持し、日銀当座預金の一部へのマイナス金利付利を継続しました。

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、年末越え運用ニーズの強まりから一時的に大きく低下する局面もありましたが、日銀が需給動向を勘案し、短期国債の買入れ額を調整したことから、期を通じて概ねレンジ推移となりました。

▶ ポートフォリオについて (2022年3月2日から2023年3月1日まで)

短期金利は低位での推移が継続するとの見通しの下、残存0年から1年3ヵ月までの円建て公社債および短期金融商品で構築したポートフォリオを維持しました。また、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮しながら、短期公社債の組入れを行いました。

▶ ベンチマークとの差異について (2022年3月2日から2023年3月1日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

② 今後の運用方針

商品市況の高騰や為替の円安を背景に、当面は物価上昇率の高止まりが続きますが、日銀はコストプッシュ型の物価上昇は持続的でないとの見方を維持し、マイナス金利政策を継続する見込みです。従って、短期国債利回りやコールローン（金融機関同士のごく短期の資金の貸借）翌日物金利など、主要投資対象である短期公社債および短期金融商品の利回りは、引き続きマイナス圏の推移を想定します。

残存0年から1年3ヵ月までの公社債や短期金融商品で利回りのマイナス幅が小さい投資対象を選定し、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮して運用を行います。

■ 1万口当たりの費用明細(2022年3月2日から2023年3月1日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) その他費用 (その他)	1円 (1)	0.005% (0.005)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	1	0.005	

期中の平均基準価額は9,993円です。

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

■ 当期中の売買及び取引の状況(2022年3月2日から2023年3月1日まで)

公社債

		買付額	売付額
国内		千円	千円
	国債証券	14,088	—
	特殊債証券	43,359	—
			(58,000)

※金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

※()内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等(2022年3月2日から2023年3月1日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況
(2022年3月2日から2023年3月1日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2023年3月1日現在)

公社債

A 債券種類別開示

国内(邦貨建)公社債

区 分	期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国 債 証 券	14,000 (-)	14,077 (-)	18.4 (-)	- (-)	- (-)	- (-)	18.4 (-)
特 殊 債 券 (除く金融債券)	43,000 (43,000)	43,129 (43,129)	56.3 (56.3)	- (-)	- (-)	- (-)	56.3 (56.3)
合 計	57,000 (43,000)	57,206 (43,129)	74.7 (56.3)	- (-)	- (-)	- (-)	74.7 (56.3)

※()内は非上場債で内書きです。

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

B 個別銘柄開示

国内(邦貨建)公社債

種 類	銘 柄	期 末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償還年月日
国 債 証 券	332 10年国債	%	千円	千円	
		0.6000	14,000	14,077	2023/12/20
	小 計	-	14,000	14,077	-
特 殊 債 券 (除く金融債券)	189 政保道路機構	0.5410	14,000	14,013	2023/04/28
	2 政保新関西空港	0.8820	14,000	14,044	2023/06/27
	200 政保道路機構	0.8010	15,000	15,071	2023/09/29
	小 計	-	43,000	43,129	-
	合 計	-	57,000	57,206	-

■ 投資信託財産の構成

(2023年3月1日現在)

項 目	期	末
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円	%
	57,206	74.7
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	19,355	25.3
投 資 信 託 財 産 総 額	76,561	100.0

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2023年3月1日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	76,561,741円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	19,305,618
公 社 債 (評 価 額)	57,206,522
未 収 利 息	47,530
前 払 費 用	2,071
(B) 負 債	300
そ の 他 未 払 費 用	300
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	76,561,441
元 本	76,632,575
次 期 繰 越 損 益 金	△ 71,134
(D) 受 益 権 総 口 数	76,632,575口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	9,991円

※当期における期首元本額76,632,575円、期中追加設定元本額0円、期中一部解約元本額0円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

高成長インド・中型株式ファンド	17,711,132円
アジア好利回りリート・ファンド	99,971円
三井住友・ビムコ・ストラテジック・インカムファンド (為替ヘッジあり/年1回決算型)	7,742,960円
三井住友・ビムコ・ストラテジック・インカムファンド (為替ヘッジなし/年1回決算型)	1,337,053円
三井住友・ビムコ・ストラテジック・インカムファンド (為替ヘッジあり/3カ月決算型)	4,909,194円
三井住友・ビムコ・ストラテジック・インカムファンド (為替ヘッジなし/3カ月決算型)	1,456,790円
日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド (為替ヘッジなし)	14,208,735円
日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド (限定為替ヘッジ)	1,237,272円
三井住友・ニュー・アジア・ファンド	369,177円
アジア好利回りリート・ファンド (年1回決算型)	997円
日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド (為替ヘッジなし/年2回決算型)	1,187,376円
日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド (限定為替ヘッジ/年2回決算型)	389,132円
日興エドモン・ドゥ・ロスチャイルド・グローバルCBファンド (為替ヘッジあり)	289,352円
日興エドモン・ドゥ・ロスチャイルド・グローバルCBファンド (為替ヘッジなし)	419,066円
グローバル自動運転関連株式ファンド (為替ヘッジあり)	4,140,881円
グローバル自動運転関連株式ファンド (為替ヘッジなし)	11,065,647円
グローイング・フロンティア株式ファンド	2,185,185円
高成長インド・中型株式ファンド (年1回決算型)	7,882,655円

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ お知らせ

<約款変更について>

該当事項はございません。

■ 損益の状況

(自2022年3月2日 至2023年3月1日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	414,167円
受 取 利 息	422,396
支 払 利 息	△ 8,229
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△434,550
売	△434,550
買	△434,550
(C) そ の 他 費 用 等	△ 4,028
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 24,411
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 46,723
(F) 合 計 (D + E)	△ 71,134
次 期 繰 越 損 益 金 (F)	△ 71,134

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。